

授 業 科 目 名	インテリア計画						
ナンバリング①	B8-I-2			ナンバリング②			
サブタイトル	インテリアデザインの理論						
授 業 区 分	専門教育科目	単 位 数	2 単位	開講時期	秋学期	出席要件	2/3以上
担 当 教 員	蓑輪裕子					授業形態	講義
質問受付の方法	研究室に掲示してあります						
到達目標と 学 習 の 成 果	到達目標 (1) 目的 快適で美しく、居心地の良いインテリアデザインについての知識を身につけ、自らデザインする技能を身に付けることを目的とする。 (2) 授業の構成と到達目標 1) インテリアを計画する際の基本的な考え方を理解し、説明できる。 2) インテリアを構成するエレメントの種類と特徴を理解し、説明できる。 3) インテリア施設の見学を通じて、インテリアデザインの具体的な方法を理解し説明できる。						
	学習成果 1. インテリアの計画ができる。 2. インテリアを構成するエレメントの種類と特徴を理解し、説明できる。 3. インテリアの事例見学から、インテリアコーディネートの方法を理解し、説明できる。						
ディプロマポリシーとの関連	1. インテリアの専門家として、あるいは住み手の一人として必要な能力が身につく 2. 修得した能力を基に、社会情勢の変化に対応する力が身につく 3. 広い視野を持ち、多面的な側面から物事を判断する能力が身につく 4. カリキュラムマップでは、ファッション・デザインに係わる基礎知識を習得するに位置付けられており、授業で学ぶ知識を基にインテリアのデザインができるようになる						
授業の方法と開講方法の別	1. テキストや映像資料を用いた講義を行い、それを踏まえて課題発見・整理・改善策の検討を各自およびグループで行う。 2. 映像資料の利用時は、各自が記入シートに概要、要点、課題、考察等を記入する。 3. インテリア関連施設の見学を行う。(受講生の日程調整が可能な場合) 4. リテラシーの実質化：インテリアに関する情報を収集し、それらの情報を分析して最適なインテリアをコーディネートしたり、課題を見つける練習を行う。これらを通じて、情報収集力、情報分析力、課題発見力が身につく。 5. この授業は面接とオンラインを併用して実施する。						
テキスト 参 考 図 材 書	参考書 住まいとインテリアデザイン 住まいとインテリア研究会 彰国社 2007						
評 価 の 要 点	1. 授業内容に関して毎回小レポートを作成。また課題レポートの提出により理解度を把握する。 2. 見学の後は、理解を確実にするためレポートを提出する。 3. 授業に対する積極性や基本的学習態度も評価の判断材料に含める。						
評 価 方 法 と 採 点 基 準	1. 小レポート40％ 2. 見学レポート20％ 4. 課題レポート40％						
履修上の注意 事項や学習の 助 言 な ど	商品知識を身に付けることが必要な分野ですので、日頃から、新聞や各種資料等を通じて情報収集・整理に努めてください。						

授業回数別教育内容		身につく資質・能力	予習・復習等
1回	ガイダンス 授業の目標と進め方 1. 授業の目標と進め方を理解する。	1. 授業の目標、進め方が理解できる。	予習：自宅のインテリアの特徴をまとめる。(30分)
2回	インテリア概論 1. インテリアのはじまりを理解する 2. 現代のインテリアを理解する。	1. インテリアの変遷がわかる。	復習：インテリアの歴史をまとめる。(30分)
3回	現代のライフスタイルと住まい 1. 働き方の変化を理解する。 2. 家族のかたちの変化を理解する。 3. 自らの志向するライフスタイルと住まいについて考察を深め、発表する。	1. ライフスタイルの動向がわかる。	復習：ライフスタイルの種類と特徴をまとめる。(30分)
4回	暮らしと住まいのかたち 1. 仕事と住まいのかたちを理解する。 2. 趣味と住まいのかたちを理解する。 3. 集まってくらすさまざまなかたちとそれぞれの長所・短所を理解する。	1. ライフスタイルに合った多様な住まいがわかる。	復習：さまざまな集合住宅についてまとめる。(30分)
5回	住宅平面の考え方 1. ゾーニングと動線計画を理解する。 2. LDK・水回り空間の計画について理解する。 3. 自宅のLDK・水回り空間の特徴と課題を考察し、発表する。	1. ゾーニングの考え方がわかる。 2. LDK、キッチン の計画方法がわかる。	復習：様々なLDKやキッチンの事例を調べてまとめる。(30分)
6回	インテリア計画のプロセス 1. インテリアの進め方を理解する。 2. インテリアスタイルを理解する。 3. ゾーニングと動線計画を理解する。	1. インテリア計画のプロセスがわかる。	復習：インテリアのスタイルの種類と特徴をまとめる。(30分)
7回	カラーコーディネーション 1. カラーコーディネーションの進め方を理解する。 2. カラーとインテリアスタイルの関わりを理解する。 3. 自分の好きなカラーとスタイルについて考察し発表する。	1. カラーコーディネーションの考え方がわかる。	復習：カラーコーディネートの進め方をまとめる。(30分)
8回	ウィンドウトリートメント 1. ウィンドウトリートメントの種類と特徴を理解する。 2. 自宅のウィンドウトリートメントの特徴と課題を考察し、発表する。	1. ウィンドウトリートメントの種類と特徴がわかり、自分で選定できる。	復習：ウィンドウトリートメントについてまとめる。(30分)
9回	照明 1. 照明の種類と特徴を理解する。 2. 学内の照明の特徴と課題を見学してレポートにまとめ、発表する。	1. 照明の種類と特徴がわかり、自分で選定できる。	復習：照明の種類と特徴をまとめる。(30分)
10回	寝具 1. 寝具の種類と特徴を理解する。 2. 和洋の寝具の違いを調べて特徴を整理しレポートにまとめる。	1. 寝具の種類と特徴がわかり、自分で選定できる。	復習：寝具の種類と特徴をまとめる。(30分)
11回	インテリアアクセサリー、オーナメント 1. インテリアアクセサリー、オーナメントの種類、飾る際の留意点を理解する。	1. インテリアアクセサリー、オーナメントの特徴がわかる。	復習：インテリアアクセサリーについてまとめる。(30分)
12回	ディスプレイの計画 1. 店舗ディスプレイの考え方を理解する。 2. 身近なディスプレイを調べて特徴を比較し、レポートにまとめる。	1. ディスプレイの計画の特徴を理解する。	復習：ディスプレイの事例を見て特徴をまとめる。(30分)
13回	インテリア施設の見学 1 1. すぐれたインテリア施設を見学し、事例からコーディネートの方法を理解する。	1. 観察力、理解力が身につく。	復習：施設見学のレポートをまとめる。(60分)
14回	インテリア施設の見学 2 1. すぐれたインテリア施設を見学し、事例からコーディネートの方法を理解する。	1. 観察力、理解力が身につく。	復習：施設見学のレポートをまとめる。(60分)
15回	講義のまとめ 1. 講義の要点を整理し、復習する。	1. 要点をまとめる力が身につく。	復習：要点をまとめる。(30分)
試験	課題レポート		